

①事業の基礎情報

事業名	学びによるつながり創出事業		担当部・グループ名	こども未来部 文化スポーツグループ						
実施期間	平成 26 年度～平成 29 年度		担当 GL 氏名	岡島 正明						
新規・継続の別	継続事業		電話番号(内線)	52-1111(内線 300)						
縦(計画(基本計画)体系)	個別目標	(3)人と学びの輪を広げ、まちのチカラを育みます	予算書上の 予算・事業名	款	10款 教育費					
	こんなことに取り組みます	・地域の人たちがさまざまな先生役となり、地域の人たち(特に子ども)の成長に関わる機会を増やします。 ・地域の良さ(歴史、文化、伝統など)を学び、地域の魅力の掘り起こし・情報発信を進めます。		項	5項 社会教育費					
				目	3目 生涯学習推進費					
	みんなで目指すまちづくり指標名	高浜市に愛着や誇りを持っている人の割合			事業名	2 生涯教育活動推進事業				
現状値(H25)	72	実績値(H26)	70	実績値(H27)		実績値(H28)		目標値(H29)	76	(単位) %

②事業の概要

目的 (何をどうするために)	・学ぶ意欲に繋がる感動や体験から、子どもの「もっと知りたい」「学びたい」という好奇心を醸成していく。 ・高浜市のあらゆる情報をまるごと編集し、将来に語り継ぎ、まちへの愛着や誇りを高める。 ・身近な存在の地域の方が先生となることで、地域ならではの講座が開催できるとともに、地域住民のつながりができ、地域の活力を高めることにつながる。		
対象(誰・何を対象に)	市民	対象の数量	46,202 人
最終目標 (最終的に何がどうなれば達成か)	・個人の学びを市民がともに学び合う力に高め、学んだ成果をまちづくりに積極的に活かすことで、まちのチカラが育っている。 ・「人づくり」から「まちづくり」への動きにつながっていくことで、高浜市に愛着や誇りを持つ市民が増えている。		

③事業にかかる事業費概要

平成 26 年度 (当初)		決算	主な内容
事業費総額 (千円)		188	—
財源内訳	一般財源	188	—
	特定財源	国・県支出金	—
		その他	—
補助事業・単独事業の別		単独事業	単独事業



▲みんなで鬼みちを歩こう！



▲高浜港駅について語ろう！！

#### ④平成 26 年度の実施内容（目指す姿の実現に向けて、どんなことに取り組んできたのかを整理する）

	何を・どうした ※箇条書きで記載する	いつ(年月)	アウトプット
実施内容	①「タカハマ！まるごと宝箱」を立ち上げた。（前倒し実施） （例）みんなで鬼みちをあるこう！／高浜港駅を語ろう！！ ／高浜市のお正月料理／1年間の振り返りと高浜の魅力をみんなで語ろう！	H26.7～	計 10 回 約 25 人／回
	②名古屋市立大学との連携により、聞き書きプロジェクト紹介「名古屋市立大学隠岐海士町編」を開催した。	H26.9	
	③愛知教育大学との連携により、公開講座「地域の歴史・文化について民俗学してみよう」を開催した。	H26.10	
	④図書館と共同して高浜ふるさと講座「高浜市における土管作りのはじまり」「写真で見る衣浦大橋周辺の今昔」を開催した。	H26.11 H27.2	
進捗状況	当初の計画を前倒しして立ち上げて、順調に進めることができた。		
実施内容に対する成果 (事業の自己評価)	☆生涯学習基本構想に掲げるすべての要素を含む「タカハマ！まるごと宝箱」を立ち上げた意義は大きい。この芽を今後も大きく育てていきたい。		

#### ⑤課題と今後の取組みの方向性（平成 26 年度を振り返り、課題を抽出し、今後の取組みの考え方を整理する）

課題	今後の取組みの方向性
<b>（1）学びの成果の活用</b> ・話を聞く・参加するにとどまらず、自らまちの魅力について調べ、語ることができる市民を増やし、活躍の場をつくっていくことが大切である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民自らがまちの魅力を掘り起こし、発表・発信できる場・仕組みを構築する。</li> <li>・大学・美術館・図書館などの専門機関との連携を深める。</li> <li>・調査・発表内容を体系的にとりまとめ、市民に「見える化」する。</li> </ul>
<b>（2）情報発信の継続</b> ・「タカハマ！まるごと宝箱」の情報発信と「タカハマ物語 2」の次を見据えて、こども若者の成長応援やまちの誇りをさらに高めていくための継続的な取組みが欠かせない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「タカハマ！まるごと宝箱」のコンテンツと「タカハマ物語 2」の映像を融合し、様々な人が寄り合い、まちの自慢、イベント、企業紹介、市政などの情報を動画で配信し、まちの元気、活力、愛着や誇りを高める。</li> </ul>

#### ⑥課題解決に向けた平成 27 年度の具体的なアクション（案）

	何を・どうする ※箇条書きで記載する	いつまでに(年月)
計画(案)	①高浜市の魅力を掘り起こす。（調査テーマの選定）	H27.5
	②市民と行政が協働で調査、取りまとめを行う。	随時
	③「学び合い・語り合いの会」で発表する。	随時
	④学びの結果を冊子にまとめ、発行する。	H28.3
	⑤「(仮称) タカハマ！まるごと放送局」の立ち上げ準備を進める。	H28.3
特記事項	・「タカハマ！まるごと宝箱」は生涯学習基本構想に掲げる全ての要素を含んでいることから、平成 27 年度より事業名を「タカハマ！まるごと宝箱事業」へと変更する。	